

## 令和7年度 第3回 高台中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月6日（金） 15時30分から16時30分まで
- 2 開催場所 高台中学校 第2会議室
- 3 出席委員 齋藤 健二、山崎 えみ子、渡邊 貴子、岡本 護
- 4 欠席委員 里中 恵介、木村 大介、杉本 典之
- 5 学 校 守屋 謙一郎（校長）、山本 裕司（教頭）、高林 厚志（教務主任、CS担当）  
川嶋 弘美（教諭、CS担当）、和久田 鈴香（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 和久田 鈴香（CSディレクター）
- 8 議長の選出  
司会の高林より、議長の選出について第2回協議会において承認されたとおり、会長を選出する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 9 協議事項
  - （1）学校関係者評価について
  - （2）来年度の学校運営の基本方針
  - （3）学校運営協議会の本年度の取組の反省と来年度に向けて
- 10 会議記録  
司会の高林より、委員総数7人のうち4人の出席があり、過半数に達しているため、議会が成立する旨の報告があった。
  - （1）学校関係者評価について  
議長の指示により、生徒会長から学校教育目標「(幸せな)大人になるための学校」を意識した学校生活の心構えや取組について報告があり、委員からは以下の発言があった。
    - ・他校では学校生活においてどのような取組が行われているのか、生徒間での情報交換はあるのか。（岡本委員）  
→昨年8月に豊橋市で三遠南信中学生交流会が行われ、豊橋市・飯田市・浜松市の三市の中学生と交流することができ、それぞれの学校での生徒会活動や地域との関わりについて語り合うことができた。（生徒会長）
    - ・「大人になるための学校」を意識することも大切ではあるが、守られるべき子供でもあるということも忘れないでほしい。（渡邊委員）
    - ・学校教育目標が学校全体に浸透しているということがよく分かった。（山崎委員）
 続いて、教務主任から1学期と2学期の学校アンケート結果の比較分析と考察及び今後の課題と対策について報告があった。続いて、教頭から高台中のいじめに関する取組の報告と、第1回協議会での意見を踏まえて、いじめ防止のための標語を階段の蹴込み板に掲示した旨の報告があり、委員からは以下の発言があった。
    - ・いじめ防止フォーラムは高台中独自のものなのか。（山崎委員）  
→3年程前から独自に行われている活動である。（校長）
    - ・いじめを起こす生徒の家庭環境にはどんな傾向があるのか。（岡本委員）  
→様々であり一概には言えない。学年によっていじめの内容も指導方法も違いがあり原因も様々である。家庭環境だけを注視しないよう気を付けている。（校長）  
→子供はストレスを何かに向けてしまうところがあり、その原因は家庭環境、友人関係、自己に向けてのものなど様々である。子供が安心・安全に過ごせる環境「心の居場所」にすることが学校に出来ることだと考えている。（教頭）

## (2) 来年度の学校運営の基本方針

議長の指示により、校長より来年度の学校経営構想案について説明があった。学校教育目標「(幸せな)大人になるための学校」を継承しつつ、従来から更に一歩進んだキーワード「高きをめざし共に輝く」を目指し、指導の在り方を見直しながら、生徒の主体性をより育てるために、授業時間を5分短縮し、生徒が自らの学びをデザインする時間「高台タイム」の創設を考えている旨の説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・「高台タイム」の創設により、授業時数への影響はないのか。(渡邊委員)
  - 「高台タイム」は毎日設定ではない。子供たちの主体性や学び方を伸ばし、特色ある学校づくりにつながるものとして、月に1、2回程度、模索しながら進めていきたいと考えている。(校長)
- ・授業の短縮によって、先生方は授業の組み立てが難しくなるのでは。(渡邊委員)
  - 工夫次第では時間短縮を可能にしながらも生徒の力を伸ばすことに繋げることもできると考える。例えば、理科の実験の際など考える力を伸ばすために自分たちで計画を立てて進めるように指導することもあるが、時間内に終わらせるために子供たち自身が時間を意識して進められるようになってきているため、プラスになる面もあると思う。(教務主任)
  - ICT機器を授業に導入することによって効率化ができ、時間短縮にも効果的と考える。(教頭)
- ・登校後、授業前の朝の時間に行うのはどうか。先生と子供たちが負担のないように行ってもらえたらと思う。(齋藤会長)

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

## (3) 学校運営協議会の本年度の取り組みの反省と来年度に向けて

議長の指示により、川嶋から不登校傾向生徒と発達支援学級生徒による体験活動(みかん収穫)について報告があった。続けて、教務主任より学校運営協議会委員による面接練習について報告と、来年度のCSの三本の柱として、今年度に引き続き、①不登校支援、②地域人材の活用、③生徒のよいところを育てるを進めていきたい旨の提案があり、委員からは以下の発言があった。

## みかん収穫体験

- ・農家の方の仕事を知ることができ、子供たちも楽しそうであった。ただし、みかん農園は閉鎖してしまう予定である。(齋藤会長)
- ・収穫したみかんは大変美味しかった。(渡邊委員)

## 学校運営協議会委員による面接練習

- ・言葉を考えて立派に発言していた。楽しい経験をさせてもらった。(渡邊委員)
- ・本番面接の前に役に立てたのはよかった。(山崎委員)

## 来年度に向けて

- ・来年度は不登校の生徒が参加してもらえるよう職場体験などの場を設けるなど、支援を継続したい。(齋藤会長)

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

## 11 報 告

## (1) 夢育やらまいかCS加算分の報告について

教頭より夢育やらまいかCS加算分について、第1回協議会で議決されたとおり使用した旨、報告があった。

## 12 連絡事項

## 令和8年度の予定

- ・第1回 5月28日(木) 15時30分から16時30分まで
- ・第2回 10月23日(金) 15時00分から16時30分まで
- ・第3回 2月 5日(金) 15時30分から16時30分まで